

秋田修英

Pour your all into what can only be accomplished now!
(今できるものに全力を注ぎなさい)

台湾に修学旅行に行ってきました。

今年の2年生の修学旅行は12月1日(土)～12月4日(火)の4日間、台湾(台北中心)に行ってきました。

初日は移動と台北101見学、2日目は故宮博物院と忠烈祠の衛兵交代、九份の見学、3日目は地元学生ガイドと一緒に班別の研修、最終日は中正記念堂と龍山寺、そして移動というように、有意義な4日間を過ごしてきたようでした。特に3日目の班別研修では、全員での移動では行くことのできないような台北の街の文化に触れ、また地元の方々と、中国語や英語で会話をして国際交流をはかったりと、楽しくて、とても良かったとたくさんの生徒たちが言っていました。そして、日本では味わえない異国の食文化も知ることができ、個人的に口に合う合わないはあったにせよ、初めての経験をたくさんすることができました。



2年西岡君、高野連優秀選手

12月7日(金)秋田ビューホテルで、平成30年度秋田県高野連優秀選手表彰式が行われました。

表彰式では、2年生の西岡海斗君が、今年の夏の選手権大会秋田大会の2回戦での18奪三振の投球をしたことが認められ、秋田県高野連より表彰されました。表彰後のコメントでは、「2年生でこの賞を頂けたことはとても光栄で、来年の秋田の高校野球を盛り上げられるよう頑張りたい」と述べていました。

秋の全県大会では、我が校始まって以来の全県優勝と東北大会初出場もあり、本人自身も大会中の好投が目立った今シーズンだったので、この冬季練習では、

しっかりと体づくりと心づくりをして、来年度、また活躍できるように充分に備えてほしいものです。



将来を見据えて

～1年生 上級学校見学・職場見学～

1年生が進路学習の一環で、上級学校と県南の企業を訪問しました。先月の16日には、富士大学（花巻市）・盛岡大学（盛岡市）の他、盛岡情報ビジネス専門学校、上野法律ビジネス専門学校、大原スポーツ公務員専門学校（いずれも盛岡市）を見学しました。

12月6日には、秋田指月株式会社（羽後町）と株式会社ヤマダフーズ（美郷町）の2社を訪れました。現場の様子を見たり、管理職の方からの講話を聞いたりと、働く人の姿や考え方に生で触れた貴重な体験でした。



文化部も頑張ってます



第51回 秋田県高等学校総合美術展 写真部門で2年生3名が推奨をいただきました。

11月26日から行われた秋田県高等学校総合美術展写真部門に、本校の写真同好会5名が参加しました。全国の推薦がかかる展覧会とあって、全県の応募総数は453点。そのうち特賞が3、推奨が134点選ばれました。本校は3名が「推奨」をいただくことができました。



【推奨】

2年 打川 千里

「今年もいぐおがったなやー」

小林 健人

「二人はパンプキン」

吉田 康樹

「手袋怪人降臨」

1月行事予定表

1	火	元日 年末年始休日～3日	17	木	体力診断(スポーツコース1.2年)
2	水		18	金	体力診断(スポーツコース1.2年)
3	木		19	土	
4	金		20	日	通信制課程特別活動 全商情報処理検定
5	土		21	月	
6	日	栄養講座(運動部1.2年)	22	火	生徒会役員選挙 体力診断(スポーツコース1.2年)
7	月		23	水	職員会議 資格講座⑨ カウンセリング
8	火		24	木	
9	水		25	金	第3回実用英語技能検定
10	木	推薦入学検査	26	土	
11	金		27	日	通信制課程スクーリング レポート⑫締切
12	土		28	月	
13	日	通信制課程スクーリング レポート⑪締切⑩発送	29	火	3年学年末考査(～2月1日)
14	月	成人の日	30	水	進路ガイダンス(2年) 第3回漢字検定
15	火	全日制3学期始業式 安全の日 整容指導 冬休み明けテスト	31	木	
16	水	進路講話(1.2年) 登校・昼休み巡回指導(～18日)			

21世紀枠、選出ならず!!

～ある教師の独り言～



12月14日(金)21世紀枠の各ブロック代表の発表があり、本校が東北大会で敗れた宮城の「古川高校」が選出された。本校が選出されなかったことは非常に残念なことではあるが、県の代表に選出されたこと自体がとても名誉なことであり、選手たちはそのことを十分理解しているように思える。練習への取り組みが今までとは全く違い、発表の当日も選出されなかったことはただの通過点であり、自分たちは選出されなかったのだから、「最後の夏」に向けてただ頑張っていくだけという次のステップに向かう姿勢がはっきりと見えた。

オフシーズンの練習は同じ事の繰り返しでマンネリ化してしまいがちだが、その後の練習も、毎日、目標を持って自分たちで練習を盛り上げて明るく行っている。また「全県を制した」という事実が、練習にも日常生活の中にも、自信と誇りを持つことにつながっているようにも見える。

秋の全県大会で優勝したかもしれないが、夏の大会を勝ち抜くことは並大抵のことではない。そのことを十分に理解して練習を続けることで、本校始まって以来の「大輪の花」を咲かせてほしいと願っている。